

4 工事関係提出書類

工事関係提出書類一覧表

番号	様式名	提出期限	備考	押印 要否
1	工程表	契約書の規定による	S49. 3. 30和歌山県訓令第16号別記第5号様式	不要
2	変更工程表	工期変更協議開始日または契約書の規定による		不要
3	下請負（委任）通知書	下請負の通知を求められた時（施工体制台帳を提出する場合は省略）	別記第7号様式	不要
4	現場代理人等通知書	契約締結後速やかに	別記第8号様式	要
5	経歴書	契約締結後速やかに現場代理人のみ省略	（第8号様式）別紙	-
6	現場代理人等変更通知書	変更の時	別記第9号様式	要
7	工期延長請求書	工期延長を必要とする時	別記第10号様式	不要
8	損害発生通知書	損害発生後速やかに	別記第11号様式	不要
9	完成通知書	工事完成の日	別記第12号様式	不要
10	引渡書	引渡の時	別記第13号様式	要
11	請負代金請求書	請求しようとする時	別記第14号様式	不要
12	前払金請求書	請求しようとする時	別記第15号様式	不要
13	中間前払金請求書	請求しようとする時	別記第16号様式	不要
14	既済部分検査請求書	希望日の15日前	工事打合簿（別紙様式第2号）にて対応し、別記第17号様式を省	不要
15	指定部分完成通知書	部分完成の日	別記第18号様式	不要
16	指定部分引渡書	引渡の時	別記第19号様式	要
17	事故発生報告書	事故発生後速やかに	別紙 様式第1号	省略可
18	事故報告書（受注用）	事故発生後速やかに	様式－2	-
19	記入コード表	事故発生後速やかに		-
20	工事打合簿	打合の都度	別紙 様式第2号	要
21	材料確認願	確認を受けようとする時	工事打合簿（別紙様式第2号）にて対応し、別紙様式第3号を省略	-
22	段階確認書	事前に	工事打合簿（別紙様式第2号）にて対応し、別紙様式第4号を省略	-
23	立会願	事前に	別紙 様式第5号工事打合簿（別紙様式第2号）にて対応し、別紙様式第5号を省略	-
24	現場発生品調書	発生品引渡の時	工事打合簿（別紙様式第2号）にて対応し、別紙様式第6号を省略	-
25	工事材料確認書	使用前に	別紙様式第7号にて一覧表のみを提出 関係書類は受注者保管	省略可
26	材料品質証明資料	必要の都度及び工事完成時	別紙様式第8号にて一覧表のみを提出 関係書類は受注者保管	省略可
27	施工計画書	工事着手までに 工期及び数量のみ変更の場合は省略		-
28	施工体制台帳（作成例）	下請け契約締結後速やかに	下請け金額にかかわらず提出	-
29	施工体系図（作成例）	下請け契約締結後速やかに	下請け金額にかかわらず提出	-
30	再下請通知書（作成例）	下請け契約締結後速やかに	下請け金額にかかわらず提出	-
31	現場組織表	施工計画書に添付	様式 1－1、1－2	-
32	再生資源利用計画書	施工計画書に添付	建設副産物情報交換システム （COBRIS）による	-
	再生資源利用促進計画書	施工計画書に添付		-
	再生資源利用実施書	必要の都度及び工事完成時		-
	再生資源利用促進実施書	必要の都度及び工事完成時		-
33	工事カルテ受領書写	契約後・変更後・完成後の10日以内		-
34	出来型管理関係図書	必要の都度及び工事完成時		-
35	品質管理関係図書	必要の都度及び工事完成時		-
36	工事記録写真	必要の都度及び工事完成時	1,000万円以上の全ての工事は電子納品、現地で確認出来る部分の写真は省略	-

37	工事日誌	提出を求められた時		-
38	工事特性・創意工夫・県産品、県認定リサイクル製品・社会性等・施工体制・施工状況に関する実施状況	必要の都度及び工事完成時	様式 7-1、7-2	-
39	レディーミクストコンクリートに関する調達調書	必要の都度		省略可
40	調達調書	監督員の求めに応じて	様式 4-1	省略可
41	建退共掛金収納書	契約締結後1ヶ月以内及び完成時		-
42	窓口責任者報告書	契約後速やかに	請負代金額5千万円以上が対象 様式 9-1	不要
43	不当要求対応マニュアル講習受講申込書	契約後速やかに	請負代金額5千万円以上が対象 様式 9-2	不要
44	その他必要書類	-		

別記第5号様式(第8条関係)
和歌山県知事様

受注者 住所
氏名

工 事 番 号		工 事				工程表												
工 種	延長 数量	単 位	歩 合	月		月		月		月		月		月		受注者		
				10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	監督員	工 期	年 月 日から 年 月 日まで
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															
			8 6 2															

[注] 工事内容に応じ、ネットワーク式とする。

別記第7号様式（第8条関係）

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

下請負（委任）通知書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記工事について、工事の一部を下記 $\left[\begin{array}{l} \text{請け負わせる} \\ \text{委任する} \end{array} \right]$ ので、建設工事請負契約書第7条の規定により通知します。

記

- 1 工事年度及び工事番号 年度 第 号
- 2 工事名
- 3 下請負等に付する部分の概要及び予定工事量
- 4 下請負人等の住所、商号又は名称、資格
- 5 下請負人等の業種、工期、金額
- 6 現場担当責任者の氏名
- 7 下請負等に付する理由

円

年 月 日

受注者 住 所 印

工事年度及び工事番号		年 度	第	号
工 事 名				

記

区 分	氏 名
現 場 代 理 人	
〔 〕 主任技術者	
〔 〕 監理技術者	
監理技術者補佐	
専 門 技 術 者	

- 1 該当する技術者以外については、抹消すること。
- 2 建設業法第 26 条第 2 項に該当する場合は、主任技術者でなく監理技術者とする
こと。
- 3 特定工事を自ら施工するときは、専門技術者を選任すること。
- 4 [] の部分には、建設業法第 26 条第 3 項の工事の場合で、主任技術者を置
いたときは「専任の」の字句を、監理技術者を置いたときは「監理技術者資格
者証の交付を受けた専任の」の字句を記入すること。また、同項ただし書の適
用を受ける監理技術者を置いた場合は、「特例」の字句を記入すること。

別紙

経歴書（ ）

住 所

氏 名

生年月日

年

月

日

学 歴

1 年 月（最終学歴）

資 格

1 年 月

職 歴

1 年 月

2 年 月

3 年 月

工事経歴

1 年 月

2 年 月

3 年 月

備考

- 1 表題の（ ）には、現場代理人等該当するものの名称を記載すること。
- 2 最終学歴は、専攻科目まで記載すること。
- 3 資格は、法令による資格免許等の名称、等級、種別、登録（合格）番号を記載すること。
- 4 工事経歴は、工事名及び現場代理人等の任務を記載すること。
- 5 監理技術者資格者証の交付を受けた専任の監理技術者（特例監理技術者を含む。）は、監理技術者資格者証の写しを添付すること。

別記第 9 号様式（第 8 条関係）

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名 印

現場代理人等変更通知書

工事年度及び工事番号 年度 第 号
工 事 名

年 月 日付で建設工事請負契約を締結した上記工事の

現場代理人
〔 〕主任技術者
〔 〕監理技術者 を下記のとおり変更したので、別紙経歴書を添えて建設工事請負
監理技術者補佐
専門技術者

契約書第 10 条第 1 項の規定により通知します。

記

- 1 新任者
- 2 旧任者
- 3 理由

備考

- 1 該当する事項以外については、抹消すること。
- 2 別記第 8 号様式の別紙による経歴書を添付すること。
- 3 〔 〕の部分には、建設業法第 26 条第 3 項の工事の場合で、主任技術者を置いたときは「専任の」の字句を、監理技術者を置いたときは「監理技術者資格者証の交付を受けた専任の」の字句を記入すること。また、同項ただし書の適用を受ける監理技術者を置いた場合は、「特例」の字句を記入すること。

別記第 1 0 号様式（第 8 条関係）

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

工 期 延 長 請 求 書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記の工事について、建設工事請負契約書第 22 条の規定により、下記のとおり工期の延長を請求します。

記

- | | | | | |
|---|------------|----------|---|-----|
| 1 | 工事年度及び工事番号 | 年度 | 第 | 号 |
| 2 | 工事名 | | | |
| 3 | 請負代金額 | <u>¥</u> | | |
| 4 | 工期 | 年 | 月 | 日から |
| | | 年 | 月 | 日まで |
| 5 | 延長日数年月日 | 日 | 間 | |
| | | 年 | 月 | 日 |
| 6 | 理由 | 別紙のとおり | | |

備考

別紙理由は、具体的に記入するとともに参考となる書類を添付すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

損 害 発 生 通 知 書

- | | | | | |
|---|------------|----|-------|-----|
| 1 | 工事年度及び工事番号 | 年度 | 第 | 号 |
| 2 | 工事名 | | | |
| 3 | 請負代金額 | ¥ | <hr/> | |
| 4 | 契約年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 5 | 工期 | 年 | 月 | 日から |
| | | 年 | 月 | 日まで |

上記工事について、下記のとおり損害を生じたので、建設工事請負契約書第 30 条第 1 項の規定により通知します。

記

- 1 損害発生前及び損害の概要
- 2 損害の内訳数量
- 3 損害発生状況を示す現場写真

別記第 1 2 号様式（第 8 条関係）

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

完 成 通 知 書

下記工事は、 年 月 日に完成したので建設工事請負契約書第 32 条第 1 項の規定により通知します。

記

- 1 工事年度及び工事番号 年度 第 号
- 2 工事名
- 3 請負代金額 ￥
- 4 契約年月日 年 月 日
- 5 工期 年 月 日から
年 月 日まで

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住所
氏名



引渡書

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工事名
3. 工事場所
4. 工期
- 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事は、 年 月 日工事完成検査に合格したので工事目的物を引き渡します。

請 負 代 金 請 求 書										
請求金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
口座振替 指定銀行					預金種別					
		店			預金名義人					

下記工事請負代金として、上記金額を上記銀行の預金口座に口座振替の方法で
支払いされたく請求します。

年 月 日

住 所
氏 名

(支払決定権者)

様

注意

- 1 番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥の記号を付すること。
- 2 発行責任者は、代表取締役、支店長等社内において権限が委任された者を記入し、担当者は、本書類に関する事務担当者を記入すること。

別記第 1 5 号様式（第 8 条関係）

前 払 金 請 求 書									
請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円
	口座振替指定銀行				銀行			店	
下記工事請負代金の前払金として上記銀行の私名義の別口普通預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。									
年 月 日									
住所 _____									
氏 名 _____									
(支払決定権者)									
_____ 様									
契 約 概 要	工事年度及び工事番号			年度 第 号					
	工 事 場 所			市 町 地内 郡 村					
	工 事 名						工事		
	請 負 代 金 額						円		
	契約により定めた前払限度額						円		
発行責任者及び担当者（氏名／電話番号／電子メールアドレス）									
発行責任者（ ／ ／ ）									
担当者 （ ／ ／ ）									

- 注意
- 1 番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥の記号を付すること。
 - 2 発行責任者は、代表取締役、支店長等社内において権限が委任された者を記入し、担当者は、本書類に関する事務担当者を記入すること。

中 間 前 払 金 請 求 書									
請求金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円

口座振替指定銀行	銀行	店
----------	----	---

下記工事請負代金の中間前払金として上記銀行の私名義の別口普通預金口座に口座振替の方法で支払いされたく請求します。

年 月 日

住 所 _____
 氏 名 _____

(支払決定権者)

_____ 様

契 約 概 要	工事年度及び工事番号	年度	第	号
	工 事 場 所	市 郡	町 村	地内
	工 事 名	工事		
	請 負 代 金 額	円		
	中間前払金を請求することのできる金額は請負代金額の10分の2以内とし、前払金との合計額が請負代金額の10分の6以内であること。			

発行責任者及び担当者（氏名／電話番号／電子メールアドレス）

発行責任者（	／	／	）
担当者（	／	／	）

- 1 番号、年度、金額及び年月日はアラビア数字で明瞭に記入し、請負金額の前には、¥の記号を付すること。
- 2 発行責任者は、代表取締役、支店長等社内において権限が委任された者を記入し、担当者は、本書類に関する事務担当者を記入すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

既 済 部 分 検 査 請 求 書

下記工事の既済部分（第 回）検査を請求します。

記

1	工事年度及び工事番号	年度	第	号
2	工事名			
3	請負代金額	¥ (出来高予定額)		
[	年度	¥		
	年度	¥		
4	契約年月日	年	月	日
5	工期	年	月	日から
		年	月	日まで
6	検査希望年月日	年	月	日
7	検査実施場所			

備考

債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

指 定 部 分 完 成 通 知 書

下記工事の指定部分は、 年 月 日に完成したので通知します。

記

1	工事年度及び工事番号	年度	第	号
2	工事名			
3	工期	年 月 日から		
		年 月 日まで		
4	請負代金額	<u>¥</u>		
		(出来高予定額)		
	年度	<u>¥</u>		
	年度	<u>¥</u>		
5	指定部分工期	年 月 日から		
		年 月 日まで		
6	指定部分に対する請負代金相当額	<u>¥</u>		

備考

債務負担行為に係る工事の場合は、出来高予定額を記載すること。

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住所
氏名



指定部分引渡書

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工事名
3. 工事場所
4. 工期
- 年 月 日から
年 月 日まで

上記工事の指定部分は、 年 月 日既済部分検査に合格したので指定部分に係る工事目的物を引き渡します。

様式第1号

年 月 日

様

受注者名称
現場代理人

印

事故発生報告書

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工事名

上記工事において[別紙]事故報告書のとおり事故が発生しましたので報告します。

中國藝術

【用箱故障】箱故障原因

[illegible]

(二) 上下、王様を無北詰と云う程、それいながら深淵の無北詰招陣義文、無北詰招陣義直、無北詰招陣接應、(三) 又招陣大(三) 無北詰招陣一、(四) 無北詰招

重機事故用
【受注者用】
様式-2 (2)

年度 事故報告書【受注者用】(2/4)

事故当事者		被 害 者				加害に関係した者						
氏 名	名 称	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女			
性 別		()	()	()	()	()	()	()	()			
現 場 経 験 年 数	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
入 場 日 数	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
事故原因の有無と その他の理由 2. 有りの場合は内容を記入	1. 無し	2. 有り	1. 無し	2. 有り	1. 無し	2. 有り	1. 無し	2. 有り	1. 無し	2. 有り		
事故当事者の情報	1. 元請	2. 下請社員	3. 委託労働者	4. 第3者	1. 元請	2. 下請社員	3. 委託労働者	4. 第3者	1. 元請	2. 下請社員	3. 委託労働者	4. 第3者
	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他
その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他
	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他
給与形態 (第3者は除く)	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他	()	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他	()	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他	()
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

左表の建設工事の種類「のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	浚渫 (しゅんせつ)
02	土木一式 (PC)	18	振金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび土工	22	内装仕上げ
07	とび土工 (法面)	23	機械部具
08	石	24	熱線線
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	造園
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物 (鋼橋上)	29	水道
14	鋼構造物 (鋼橋上)	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	塗装	99	その他

会社名	(30文字以内)							
	元請け・下請け	1. 元請け	2. 下請け (口次)	1級	2級	その他	技術職員数	評点Z
建設工事の種類	1位	()	()	()	()	()	()	()
	2位	()	()	()	()	()	()	()
	3位	()	()	()	()	()	()	()
	4位	()	()	()	()	()	()	()
	5位	()	()	()	()	()	()	()
工事の種類(右コー ダ参照)とその内 容(5つまで記入)	上記以外の所有者の合 計人数							
	合 計							
事故原因の有無とそ の内容 (過去5年)	1. 無し、2. 有り (有りのとき、その内容を記入) (160文字)							

・事故の原因となった者(加害者、自害者、被災者等)の所属する会社の、工事種類別有資格者を多い順に上位5位
まで記入する。この有資格者数、評点Z等は「経費事項書並結果通知書」から引用できる。また、(財)建設業情報
センターのHome page (<https://www.cile.or.jp/>)からこれを検索することも可能である。
・また、事故の原因となった者の所属する会社の有資格者数がある場合、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし
上記表(事故の原因となった者の所属する会社の規模のみ)を記入し、提出する。

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

年度
事故報告書
【受注者用】(3/4)

現場全体		対象者	a 内容 (複数回答可)	b 教材 (複数回答可)	c 実施頻度
安全設備の整備状況	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	新納入業者・作業変更者 作業員 その他	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (250文字)				
通話作業	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	新納入業者・作業変更者 作業員 その他	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (250文字)				
現場全体	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	ソフトウェア () () () その他 () ハードウェア () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				
安全対策の整備状況	安全対策コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	ソフトウェア () () () その他 () ハードウェア () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				
通話作業	安全対策コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	ソフトウェア () () () その他 () ハードウェア () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				
現場全体	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	1. 人荷面 () () () その他 () 2. 物的面 () () () その他 () 3. 管理面 () () () その他 () 4. 環境面 () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				
安全設備の整備状況	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	1. 人荷面 () () () その他 () 2. 物的面 () () () その他 () 3. 管理面 () () () その他 () 4. 環境面 () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				
通話作業	安全設備コード (a 内容には最も重点を置いた項目の上位3つを記入する)	1. 人荷面 () () () その他 () 2. 物的面 () () () その他 () 3. 管理面 () () () その他 () 4. 環境面 () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()	() () () その他 () () () () その他 () () () () その他 () () () () その他 ()
	内容 (160文字)				

新聞紙は、一般事故報告(三大事故以外)と、交通事故報告、落車事故報告、重傷事故報告、死亡事故報告の4種類があります。該当する報告を提出して下さい。

年度 事故報告書【受注者用】(4/4)

様式-2(4)

施 工 体 系 図
(無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料②：事故状況説明図

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料③—1： 事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)		添付資料③—2： 事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	
作用員・誘導員配置状況図			
【記入方法】 記号(右の凡例参照)を使用して、 下の重機のまわりに配置状況を図示する。 * 右下の記入例参照			
重機 (前方) (後方)			
記入例 2.0m 2.0m 2m 重機			

(* 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

[illegible]

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

【受注者用】

様式-2 (2)

[illegible][illegible]

事故の原因となつた者(被害者、自害者、被災者等)の所属する会社の、工事現場有資格者数1間に1名5人以上まで記入する。この有資格者数、評点等とは「検査事項表並検査通知書」から引用できる。また、「財」建設業情報センターのHome page (<http://www.celc.or.jp>)からこれを検索することも可能である。

また、事故の原因となつた者の所属する会社が複数ある場合はこの様式-2(2)をコピーし、上記載(事故の原因となつた者の所属する会社の数)の規模のみを記入し、提出する。

左巻の1階工場の建物のコード表	工場の種類	コード	工場の名称
01	土木一式	17	保管 (しめんせつ)
02	土木一式 (PC)	18	保管
03	建築一式	19	ガラス
04	木工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	とび土工	22	内装仕上げ
07	とび土工 (法面)	23	建築用具
08	石	24	鉄筋繰
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	浴槽
11	管	27	足場
12	タイル	28	舗装
13	鋼構造物	29	水道
14	鋼構造物 (鋼橋上)	30	消防
15	鉄筋	31	清掃
16	足場	99	その他

事故報告書(三大事故以外)墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

[illegible]

年度 事故報告書【受注者用】(4/4)

様式-2(4)

施 工 体 系 図 (無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料②：事故状況説明図

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料③-1：事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③-2：事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

年度事故報告書【受注者用】(1/4)

【文江日用】
様式-2 (1)

事故報告書には、一般事故報告書(二十事故以内)、深刻事故報告書、重傷事故報告書、交通重大事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

交通事故
【受注者用】
様式-2 (2)

年度 事故報告書【受注者用】 (2/4)

交通調査員

事故当事者		被災者				加害に関係した者			
氏名	性別	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女	1. 男	2. 女
住所	経緯	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年	(□□□)年
入場	人数	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日	(□□□)日
事故原因の有無と 文書	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り	1. 無し 2. 有り
2. 有りの場合は内容を記入									
当事者の情報	1. 元請	2. 下請社員	(□次)	1. 元請	2. 下請社員	(□次)	1. 元請	2. 下請社員	(□次)
3. 季節労働者	3. 季節労働者	4. 第3者	3. 季節労働者	4. 第3者	3. 季節労働者	4. 第3者	3. 季節労働者	4. 第3者	3. 季節労働者
雇用形態 (第3者は除く)	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇	2. 臨時	3. 日雇	4. その他	1. 常雇
総与形態 (第3者は除く)	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他	1. 月給	2. 日給・月給	3. その他

会社名		(30文字以内)			
元請け・下請け	1. 元請け	2. 下請け (□次)	1級	2級	その他
建設工事の種類	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
当該会社	1位	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
有資格者数	2位	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
3位	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
4位	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
5位	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
上記以外の口所有者の合計人数	(□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
会 計	会 計	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
1. 無し 2. 有り (有りとき、その内容を記入) (160文字)	1. 無し 2. 有り (有りとき、その内容を記入) (160文字)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)
事故原因の有無とその内容 (過去6年)	事故原因の有無とその内容 (過去6年)	(□□□)	(□□□)	(□□□)	(□□□)

・事故の原因となった者(加害者、自害者、被災者等)の所属する会社の、工事種類所有資格数を多い順に上位5位まで記入する。この有資格者数、評点2等は「建築事項審査結果通知書」から引用できる。また、「財」建設業情報センターのHome page (<http://www.cic.or.jp>)からこれを検索することも可能である。

・また、事故の原因となった者の所属する会社が複数ある場合、2社目以降はこの「様式-2(2)」をコピーし、上記表(事故の原因となった者の所属する会社の規模)のみを記入し、提出する。

左側の「建設工事の種類」のコード表

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	塗装 (しゅんせつ)
02	土木一式 (PC)	18	振金
03	建築一式	19	ガラス
04	木工	20	塗装
05	芝草	21	防水
06	どび土工	22	内装仕上げ
07	どび土工 (法道)	23	機械器具
08	石	24	熱絶縁
09	屋根	25	電気通信
10	電気	26	通風
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物	29	水道
14	鋼構造物 (鋼組上)	30	消防
15	鉄筋	31	溝路
16	舗装	99	その他

事故報告書には、一般事故報告書(三次事故以外)、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

交通事故用
事故報告書【受注者用】
年度
報告書【受注者用】(3/4)

[illegible]

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重傷事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

年度 事故報告書【受注者用】(4/4)

様式-2(4)

施 工 体 系 図
(無い場合は、それに準ずるものを貼付して下さい。)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書（三大事故以外）、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

交通事故用
【受注者用】

添付資料②：事故状況説明図		(保安施設・交通整理員配置状況図)	
一般車両によるもらい事故(作業員・交通整理員被災または、物損事故)の場合、「一般車両の動作状況」に該当する番号に○をつける。(操作マニュアルの参考図を参照)			
一般車両の動作状況 1. 工事区域内に向けて直進進入 2. 工事区域内に対して側面進入 3. 通行可能斜線走行中 4. 規制終了後の斜線変更時 5. 歩道進入		一般車両の動作状況 6. 交差点右左折 7. 交差点直進 8. その他(内容を下記に記入)(90文字)	記入記号 ○: 現場作業員 ◎: 交通整理員
事故発生前			
事故発生後			

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

添付資料③—1： 事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③—2： 事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

【受用者共有】(1/4)

【受用者共有】(1/4)

【註】「**ルビ**」は「**ルビ**」の略称である。

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

年度 事故報告書 【受注者用】 (2/4)

樣式-2 (2)

事業の目的、原因となること、事業の経緯、事業の所属、会社との関係	会社名	元請け・下請け					(30文字以内)					
		1. 元請け		2. 下請け (口文)		評価	技術員数					
		1位	2位	3位	4位		5位	上記以外の口所者の合 計人数	合 計	1級	2級	その他
事故原因の経緯とその経過(過去5年)	当協会、 有資格者数、 工事の経緯とその経過(過去5年)	1位	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		2位	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		3位	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		4位	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		5位	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		上記以外の口所者の合 計人数		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		合 計		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
		1. 無し 2. 有り (有りのとき、その内容を記入 (160文字))										

コード	工事の種類	コード	工事の種類
01	土木一式	17	波瀲(しんせんす)
02	土木一式 (P・C)	18	鉄金
03	建築一式	19	ガラス
04	大工	20	塗装
05	左官	21	防水
06	どび土工	22	巾着仕上げ
07	どび土工 (法面)	23	煉鉄器具
08	石	24	除染機
09	康机	25	電気送風
10	電気	26	送風
11	管	27	さく井
12	タイル	28	建具
13	鋼構造物	29	木造
14	鋼構造物 (鋼橋上)	30	増防
15	鉄筋	31	清掃
16	舗装	99	その他

(一) 第一種(普通型)の構造は、主として、
 (二) 第二種(特殊型)の構造は、主として、
 (三) 第三種(特殊型)の構造は、主として、
 (四) 第四種(特殊型)の構造は、主として、

一般事故用(三大多発事故以外)
【受注者用】 年度 事故報告書 【受注者用】 (3/4)
様式ー2(3)

安全装置の実施状況	対象者	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)	c 実施頻度
	安全装置コード (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	新納入担当者・作業変更者 () () () () () その他 () 作業員 () () () () () その他 () その他 () () () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 () () () () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 () () () () () () その他 ()
当該作業	内容 (250文字)			
	安全装置コード (a 内容には最も重点をおいた項目の上位3つを記入する)	対象者 () () () () () その他 () 新納入担当者・作業変更者 () () () () () その他 () 作業員 () () () () () その他 () その他 () () () () () その他 ()	a 内容(複数回答可)	b 教材(複数回答可)
安全装置の実施状況	内容 (250文字)			c 実施頻度
	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	ソフト面:() () () () その他 () ハード面:() () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 () () () () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 () () () () () () その他 ()
当該作業	内容 (160文字)			
	安全対策コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	ソフト面:() () () () その他 () ハード面:() () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 ()	() () () () () その他 () () () () () () その他 ()
現場全体	内容 (160文字)			事故後の現場全体の措置改善項目等 (248文字)
	安全装置コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	1. 人的面:() () () () その他 () (29文字) 2. 物的面:() () () () その他 () 3. 管理的面:() () () () その他 () 4. 環境面:() () () () その他 ()		
当該作業	内容 (160文字)			
	安全装置コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	1. 人的面:() () () () その他 () (29文字) 2. 物的面:() () () () その他 () 3. 管理的面:() () () () その他 () 4. 環境面:() () () () その他 ()		事故後の当該作業の措置改善事項等 (160文字)
現場全体	内容 (160文字)			
	安全装置コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	1. 人的面:() () () () その他 () (29文字) 2. 物的面:() () () () その他 () 3. 管理的面:() () () () その他 () 4. 環境面:() () () () その他 ()		
当該作業	内容 (160文字)			
	安全装置コード (最も重点をおいた項目の上位3つをコード番号から記入する)	1. 人的面:() () () () その他 () (29文字) 2. 物的面:() () () () その他 () 3. 管理的面:() () () () その他 () 4. 環境面:() () () () その他 ()		

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、脱落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大発事故以外)
【受注者用】

年度 事故報告書【受注者用】(4/4)

様式-2(4)

施 工 体 系 図	
(無い場合は、それに該当するものを貼付して下さい。)	

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大発事故以外)
【受注者用】

添付資料②：事故状況説明図

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大発事故以外)
【受注者用】

添付資料①：事故現場写真

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

一般事故用(三大発事故以外)
【受注者用】

添付資料③-1： 事故状況平面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)	添付資料③-2： 事故状況断面図 (事故のポイントとなる部分を明示して下さい)

(※ 図中に寸法を明記すること)

事故報告書には、一般事故報告書(三大事故以外)、墜落事故報告書、重機事故報告書、交通事故報告書、交通事故報告書の4種類があります。該当する報告書を提出して下さい。

大臣・知事コード一覧表（表 1）

コード		コード		コード	
00	建設大臣	24	三重県知事	80	石狩支庁
01		25	滋賀県知事	81	渡島支庁
02	青森県知事	26	京都府知事	82	松山支庁
03	岩手県知事	27	大阪府知事	83	後志支庁
04	宮城県知事	28	兵庫県知事	84	空知支庁
05	秋田県知事	29	奈良県知事	85	上川支庁
06	山形県知事	30	和歌山県知事	86	留萌支庁
07	福島県知事	31	鳥取県知事	87	宗谷支庁
08	茨城県知事	32	島根県知事	88	網走支庁
09	栃木県知事	33	岡山県知事	89	胆振支庁
10	群馬県知事	34	広島県知事	90	日高支庁
11	埼玉県知事	35	山口県知事	91	十勝支庁
12	千葉県知事	36	徳島県知事	92	網走支庁
13	東京都知事	37	香川県知事	93	根室支庁
14	神奈川県知事	38	愛媛県知事	北海道知事	
15	新潟県知事	39	高知県知事		
16	富山県知事	40	福岡県知事		
17	石川県知事	41	佐賀県知事		
18	福井県知事	42	長崎県知事		
19	山梨県知事	43	熊本県知事		
20	長野県知事	44	大分県知事		
21	岐阜県知事	45	宮崎県知事		
22	静岡県知事	46	鹿児島県知事		
23	愛知県知事	47	沖縄県知事		

役職コード表（表 3）

コード	役 職	コード	役 職
01	現場代理人	06	安全衛生管理者
02	監理技術者	07	職長
03	主任技術者	08	安全監視員
04	統括安全衛生管理者	50	作業員
05	元方安全衛生管理者		

行動区分コード表（表 4）

分 類	コード	内 容
当該作業実施業者 以上の階層の業者	01	当該作業現場において、作業全体を監督していた。
	02	当該作業現場において、他の作業の安全点検をしていた。
	03	当該作業現場において、作業全体の進捗状況を確認していた。
	04	当該作業現場において、当該作業を監督していた。
	05	当該作業現場において、当該作業の安全点検を実施していた。
	06	工事現場にはいたが、当該作業現場にはいなかった。
	07	当日は、不在であった。
当該作業現場の責任者（職長、安全衛生責任者、作業責任者等）	08	その他
	09	当該作業現場において、作業全体を監督していた。
	10	当該作業現場において、別作業の指示・監視をしていた。
	11	当該作業現場において、当該作業を指示・監督していた。
	12	当該作業現場から離れて、他の作業を指示・監督していた。
	13	工事現場にはいたが、当該作業現場にはいなかった。
	14	当日は、不在であった。
当該作業現場、他の作業現場の作業員	15	その他
	16	被災者と一緒に作業を実施していた。
	17	被災者の近くで別作業をしていた。
	18	被災者とは離れて別作業をしていた。
	19	その他

事故報告書の記入コード表〔受注者用〕

要因コード表（表２）

共通要因・人的要因

共通要因	A	危険だと思わなかった。
	B	危険だと思っていたが、大丈夫だろうと思って危険な行動をとった。
	C	危険だと思っていたが、誤った知識による（危険な）行動をとった。
	D	危険だと思っていたが、無意識（うっかり）による行動をとった。

人的要因

規律の無視行為・危険な行為	01	機械・装置等の操作取り扱いを誤った。
	02	資格が無いのにやった。
	03	指示、命令を守らなかった。
	04	作業標準を守らなかった。
	05	安全装置をはずした、無効にした。
	06	機械・装置等を指定外の方法で使った。
	07	防護物・保護具を使用しなかった。
	08	機械・装置等を安全に動かした。
	09	準備段階点検、確認を怠った。
	10	欠陥のある機械・装置、工具、用具等を用いた。
	11	機械・装置を不安全な状態にして放置した。
	12	工具、用具、材料等を不安全な場所に置いた。
肉体的精神的疲労	13	油断、軽視した。
	14	放心、考えごとをしていた。
	15	気持ちがあせっていた。
	16	勘違い判断をした。
	17	危険を知らずにやった。
	18	熱中して判らなかった。
	19	よそ見をしていた。
	20	身体が調子が悪かった。
	21	連絡合図がなかった。
	22	連絡合図が不明瞭だった。
共同作業上の行為	23	合図、信号を統一していなかった
	24	相手の動作を確認しなかった
	25	合図を勘違いした。
	26	危険有害な場所に入った。
	27	不安全な場所へつた。
不安定な位置・姿勢	28	動いている機械、装置等に接近または触れた。
	29	つり荷に触れ、下に入りまたは近づいた。
	30	確認なしに崩れやすい物に寄りまたは触れた。
	31	無理な姿勢で作業した。
	32	服装が不適だった。
	33	保護具の選択、使用方法を誤った。
その他	23	その他の不安全行為があった
	99	その他

物的要因

物自体の欠陥	01	設計構造が悪かった。
	02	機械・器具の材料に欠陥があった。
	03	機械・器具に欠陥があった。
	04	安全度が不足だった。
	05	危険防止設備に欠陥・未設置だった。
	06	開口部覆い・手摺等防止設備に欠陥があった。
	07	作業床等防止設備に欠陥・未設置があった。
	08	水平・垂直養生が欠陥・未設置だった。
防護設備・保護具の欠陥	09	安全帯取付け設備に欠陥・未設置だった。
	10	安全通路・昇降設備に欠陥・未設置だった。
	11	ステージ・橋台・ローリングタワーに欠陥があった。
	12	梯子・脚立等に欠陥があった。
	13	飛来落下防護が欠陥・未設置だった。
	14	投下設備の設置が欠陥・未設置だった。
	15	安全装置が不適、不良だった。
	16	防火設備に欠陥・不備があった。
	17	安全標識がなかった。
	18	保護具が不適・不足だった。
	19	保護具が不良だった。
	20	不安安全に物が置いてあった。
作業周辺の欠陥	21	物を置いた場所が悪かった。
	22	作業場が狭かった。
	23	作業場の整理が悪かった。
	24	照明が不良だった。
作業環境の欠陥	25	換気が悪かった。
	26	振動があった。
	27	騒音があった。
	28	粉塵が多かった。
	29	酸欠状態だった。
	30	ガスが存在していた。
	31	交通量が多かった。
	32	天候条件が悪かった（雨・風・雪等）。
	33	地形条件が悪く、見通しが悪かった。
	34	作業環境項目を測定していなかった。
	35	その他の作業環境に欠陥があった。
	99	その他

管理的要因

教育指導の欠陥	01	作業方法を教えていなかった。
	02	危険な有害作業の教育が不十分だった。
	03	基礎心得の教育・訓練が不十分だった。
	04	理解度の確認が不十分だった。
	05	教育訓練体制が不備であった。
施工計画の欠陥	06	施工計画・作業標準が不備だった。
	07	作業の安全指示が不適切だった。
	08	作業員の配置に能力・人数で無理があった。
	09	施工体制台帳に不備があった。
	10	指揮者、誘導員をつけていなかった。
	11	安全対策費用が不十分だった。
	12	各種安全活動が不備だった。
	13	適切な技術者の配置に不備があった
	14	無資格者にやらせた。
	15	事前調査・資料調査が不十分だった。
安全管理体制の欠陥	16	現場施工条件変化に不適切に対応した。
	17	下請け指導が不適切だった。
	18	緊急通報体制が未確立・不備であった。
	19	安全施設・安全標識の点検不足だった。
	20	隣接工区との連携に不備があった。
	21	責任者が日常巡視をしていなかった。
	22	周辺地域への周知に不備があった。
	23	資格者のチェックをしていなかった。
	24	気象条件の収集と対応をしなかった。
	25	安全管理体制に欠陥があった。
	26	工事現場出入口付近での交通事故防止対策をしなかった。
	27	作業中止の基準を定めていなかった。
	28	健康診断を実施していなかった。
	29	危険物の管理に欠陥・不備があった。
	30	現場内連絡調整が不備だった。
その他	31	工程に無理があった。
	99	その他

資格・免許コード表（表5）

コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類	コード	資格・免許分類
001	一般建設機械施工技士	044	工場板金（2級）	082	プレス機械作業主任者
002	二級建設機械施工技士	045	板金「建築板金作業・建築板金・板金工」建築板金作業」（1級）	083	乾燥設備作業主任者
003	一般土木施工管理技士	046	板金「建築板金作業・建築板金・板金工」建築板金作業」（2級）	084	コンクリート破砕器作業主任者
004	二級土木施工管理技士	047	板金「建築板金作業・建築板金・板金工」建築板金作業」（2級）	085	地山の掘削作業主任者
005	一般建築施工管理技士	048	板金・板金工・打出し板金（1級）	086	土止め支保工主任者
006	二級建築施工管理技士	049	板金・板金工・打出し板金（2級）	087	ずい道等の掘削等作業主任者
007	一般電気工事施工管理技士	050	かわらぶき・スレート施工（1級）	088	ずい道等の掘削等作業主任者
008	二級電気工事施工管理技士	051	かわらぶき・スレート施工（2級）	089	採石のための掘削作業主任者
009	一般管工施工管理技士	052	ガラス施工（1級）	090	採石のための掘削作業主任者
010	二級管工施工管理技士	053	ガラス施工（2級）	091	船内荷役作業主任者
011	一般近衛施工管理技士	054	塗装・木工塗装・木工塗装工（1級）	092	型わく支保工の組立て等作業主任者
012	二級近衛施工管理技士	055	塗装・木工塗装・木工塗装工（2級）	093	足場の組立て等作業主任者
013	一般建築士	056	建築塗装・建築塗装工（1級）	094	建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者
014	二級建築士	057	建築塗装・建築塗装工（2級）	095	鋼構架等作業主任者
015	水道建築士	058	金属塗装・金属塗装工（1級）	096	木造建築物の組立て等作業主任者
016	第一種電気工事士	059	金属塗装・金属塗装工（2級）	097	コンクリート造の工作物の解体等作業主任者
017	第二種電気工事士	060	噴霧塗装（2級）	098	コンクリート舗装等作業主任者
018	電気主任技術者（第1種～第3種）	061	噴霧塗装（1級）	099	ボイラー附付工事作業主任者
019	建築大工（1級）	062	塗装・木工（1級）	100	第一種圧力容器取扱作業主任者
020	建築大工（2級）	063	塗装・木工（2級）	101	特定化学物質等作業主任者
021	左官（1級）	064	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表具・表具工（1級）	102	組作業主任者
022	左官（2級）	065	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表具・表具工（2級）	103	四アルキル鉛等作業主任者
023	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工（1級）	066	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表具・表具工（1級）	104	酸素欠乏危険作業主任者
024	とび・とび工・型枠施工・コンクリート圧送施工（2級）	067	内装仕上げ施工・カーテン施工・天井仕上げ施工・床仕上げ施工・表具・表具工（2級）	105	有機溶剤作業主任者
025	空気調和設備配管（1級）	068	熱絶縁施工（1級）	106	第一種衛生管理者
026	空気調和設備配管（2級）	069	熱絶縁施工（2級）	107	第二種衛生管理者
027	給排水衛生設備配管（1級）	070	熱絶縁施工（2級）	108	衛生工学衛生管理者
028	給排水衛生設備配管（2級）	071	熱絶縁施工（2級）	109	特級ボイラー技士
029	配管・配管工（1級）	072	熱絶縁施工（2級）	110	二級ボイラー技士
030	配管・配管工（2級）	073	熱絶縁施工（2級）	111	二級ボイラー技士
031	タイル張り・タイル張り工（1級）	074	熱絶縁施工（2級）	112	特定第一種圧力容器取扱作業主任者
032	タイル張り・タイル張り工（2級）	075	熱絶縁施工（2級）	113	免役技士
033	築炉・築炉工（1級）	076	熱絶縁施工（2級）	114	揚子表置運転士
034	築炉・築炉工（2級）	077	熱絶縁施工（2級）	115	特別ボイラー溶接士
035	ブロック建築・ブロック建築工（1級）	078	熱絶縁施工（2級）	116	普通ボイラー溶接士
036	ブロック建築・ブロック建築工（2級）	079	熱絶縁施工（2級）	117	ボイラー修繕士
037	石工・石材施工・石積み（1級）	080	熱絶縁施工（2級）	118	クレーン運転士
038	石工・石材施工・石積み（2級）	081	熱絶縁施工（2級）	119	移動式クレーン運転士
039	鉄工・製鐵（1級）	082	熱絶縁施工（2級）	120	テリツク運転士
040	鉄工・製鐵（2級）	083	熱絶縁施工（2級）	121	潜水士
041	鉄筋組立て・鉄筋施工（1級）	084	熱絶縁施工（2級）	122	その他
042	鉄筋組立て・鉄筋施工（2級）	085	熱絶縁施工（2級）		
043	工場板金（1級）	086	熱絶縁施工（2級）		

安全教育コード表（表 6）

表 6 a 教育内容		表 6 b 教材		表 6 c 実施頻度	
コード	教育内容	コード	教材	コード	実施頻度
01	機械等、原材料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱い方法に関すること	01	ビデオ	01	随時
02	安全装置、有害物抑制装置又は保護具の性能及びこれらの取扱い方法に関すること	02	スライド	02	毎日
03	作業手順に関すること	03	マニュアル	03	週 1 回程度
04	作業開始時の点検に関すること	99	その他	04	月 1 回程度
05	当該業務に関し発生するおそれのある疾病の原因及び予防に関すること			99	その他
06	整理・整頓及び清潔の保持に関すること				
07	事故時等における応急措置及び避難に関すること				
08	その他当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項				
99	その他				

安全対策コード表（表 7）

表 7 a ソフト面での対策		表 7 b ハード面での対策	
コード	ソフト面での対策	コード	ハード面での対策
01	ツール・ボックス・ミーティング	01	作業帯区域バリケードの設置
02	危険予知 (KY) 運動	02	安全ネットの設置
03	ヒヤリ・ハット運動	03	第三者に対する注意標識の設置
04	ゼロ災運動	04	車両誘導員の配置
05	整理・整頓運動	05	場内安全通路の設定
06	安全意識の啓発運動	06	立入禁止区域の設定・区画
07	安全施工サイクル活動	99	その他
08	着手前打合せ		
09	安全工程打合せ		
10	安全朝礼		
11	安全ミーティング		
12	安全バトロール		
99	その他		

安全点検コード表（表 8）

分類	コード	点検項目
1.人的面からの点検	01	保護具
	02	健康
	03	技能
	04	資格
	05	適正配置
2.物的面からの点検	99	その他
	01	設備
	02	機械
	03	材料
3.管理面からの点検	04	工具
	99	その他
	01	作業内容
	02	作業手順
4.環境面からの点検	03	職制間の調整
	04	緊急時の措置
	99	その他
	01	作業場所
	02	有害物
	03	換気
	04	照明
	05	温度
	06	湿度
	99	その他

重機コード表

重機種類	事故区分	コード
掘削機械	バックホー	01
	グラブシェル	02
	トラッククレーン	03
	クレーン、エレベーター	04
	高所作業車およびウインチ	05
	クローラークレーン	06
起重機械	クレーン（固定型）	07
	軌道型トラッククレーン	08
	エレベーター	09
	高所作業車	10
	ウインチ	11
	タンブトラック	12
運搬機械	トラック	13
	不整地運搬車	14
	トラックトラクタ	15
	コンベア	16
	モフレール	17
	モータグライダー	18
路盤機械および締固め機械	スタビライザ	19
	振動ローラ	20
	ロードローラ	21
	タイロロー	22
	清掃車	23
	路面切削機	24
維持修繕機械および除雪機械	除雪車	25
	除雪車	26
	凍結防止剤散布車	27
	ブルドーザー	28
	スクレーパー	29
	掃打機および掃板機	30
基礎工事機械	アースオーガー	31
	クローラローダー	32
	ホイローダー	33
	すり積み機	34
	ソーリングマシン	35
	削岩機	36
コンクリート機械	ブレイカー	37
	コンクリートグラウトおよびミキサー	38
	コンクリート吹付機	39
	フィニッシャー	40
	アスファルトディストリビューター	41
	液流理立工事用作業船	42
作業船	起錨機船	99
	その他	

重機事故コード表（表 9）

作業位置コード表

コード	作業位置
1	重機の真後ろで作業
2	重機の側面で作業
3	重機の後方側面で作業
4	重機の前方で作業
5	重機の前方側面で作業
6	重機内（オペレーター）

動作状況コード表

コード	動作状況
1	前進
2	後退
3	旋回操作中
4	作業装置操作中
5	停止時
9	その他

重機に対する向きコード表

コード	重機に対する向き
1	重機の方向に向いて作業
2	重機の背を向いて作業
3	重機内（オペレーター）

挟まれ箇所コード表

コード	接触・挟まれ箇所	コード	接触・挟まれ箇所
01	頭	16	手
02	顔	17	指
03	目	18	腕
04	耳	19	腰
05	鼻	20	尻
06	口	21	下股
07	後頭部	22	太腿
08	喉	23	膝
09	首	24	向うずね
10	肩	25	ふくらはぎ
11	肩甲骨	26	足
12	胸	27	足の甲
13	上腕	28	足底
14	ひじ	29	全身
15	前腕		

誘導員配置状況コード表

コード	誘導員の配置状況
1	常駐配置していた
2	配置していたが気づかなかった
3	配置していたが、事故発生時には現場を離れていた
4	配置していなかった

作業手順無視不良コード表

コード	作業手順無視不良内容
1	エンジン未停止作業
2	玉掛確認不備
3	作業前点検不備
4	車両停止時点検不備
5	重機すべり止め対策不備
6	不適切な合図
7	ルート外走行
8	前方不注意
9	走行路不安定
10	不安定な走行姿勢
11	狭い作業空間
12	車体屈折箇所内作業
13	機械移動中の接触（不安全行動）
14	重機との安全距離の不十分
15	吊り荷の接触・揺れ
16	アウトリガー設置不備
17	安全装置解除
18	仮置き資材の不安定
19	通帳機
20	旋回操作不備
21	不安定な重機操作
22	荷下し作業不備
23	解体作業の不備
24	機械取付け作業の不備
25	重機足場の不備
26	転倒倒機の連結不備
27	転落防止用ワイヤー設置不備
28	連結・調整の不備
99	その他

作業内容コード表

コード	作業内容
1	掘削
2	運搬
3	締固め
4	草刈り
5	路面滑掃
6	除雪
7	枯打ち
8	杭打ち
9	穿孔
10	切削
99	その他

足場墜落事故コード表（表9）

足場の種類		足場の種類名称
コード		
1	枠組み足場	
2	単管足場	
3	丸太足場	
4	布板一間足場	
5	一間足場	
6	つりわく足場	
7	つりだな足場	
8	脚立足場	
9	うま足場	
10	移動式足場	
11	ゴンドラ	
12	ブラケット	
13	手すり先行型足場	
14	縦綱先行型足場	
99	その他	

被災者の作業区分		被災者の作業区分名称
コード		
1	足場解体	
2	足場組立	
3	型枠組立	
4	型枠解体	
5	鉄筋組立	
6	鉄筋	
7	ケレン作業	
8	安全ネット張り	
9	その他	

被災者の安全帯使用状況		安全帯使用状況名称
コード		
1	使用した	
2	装着したが未使用	
3	安全帯付け替え中	
4	未装着	

墜落箇所の種類		墜落箇所の種類名称
コード		
1	手すり未設置箇所から	
2	開口部から	
3	手すりの隙間から	
4	手すりの上から	
5	昇降設備移動中	
6	足場端部から	
7	足場上の脚立から	
8	足場ごと落下（足場倒壊）	
9	その他	

墜落直前の行動		墜落直前の行動名称
コード		
1	資機材上下運搬	
2	足場移動中	
3	足場上作業中	
4	足場外周移動中	
5	手すり・車管ハイアップ移動中	
9	その他	

被災者の作業手順		作業手順無視不良名称
コード		
1	足場解体手順無視	
2	場設置手順無視	
3	作業手順なし	
4	足場以外移動	
5	足場移動方法不備	
6	予定外作業	
7	型枠上での作業	
8	指定外足場使用	
9	足場上縦綱オーバー	
10	足場上での脚立使用	
11	足場系積方法不備	
99	その他	

事故報告書の記入コード表〔受注者用〕

交通事故コード表（表9）

表 9-1 一般車両の動作状況コード表

コード	車両作業状況
1	工事区域内に向けて直進進入
2	工事区域内に対して側面進入
3	通行可能車線走行中
4	規制終了後の車線変更時
5	歩道進入
6	交差点右左折
7	交差点直進
8	その他

表 A：事故発生場所コード表

コード	発生場所
1	現場外
2	現場内
3	現場出入口
4	一般公道

表 B：作業車両動作状況

コード	動作状況
1	前進時
2	後退時
3	停止時

表 C：被災者の位置

コード	被災者の位置
1	作業車両の真後ろで作業
2	作業車両の側面で作業
3	作業車両の後方側面で作業
4	作業車両の前方で作業
5	作業車両の前方側面で作業

材 料 確 認 願

監 督 員
_____ 様

年 月 日

現場代理人 _____ (印)

工事年度及び工事番号 _____ 年度 _____ 第 _____ 号 _____

工 事 名 _____

標記工事について、下記の材料確認を実施されたい。

記

材料名	品質規格	単位	搬入数量	確 認 欄				備考
				確認年月日	確認方法	合格数量	確認 (印)	

以上

監 督 員	現場代理人	主任技術者

段階確認書				
施 工 予 定 表 年 月 日				
特記仕様書第〇〇条に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。				
工事年度及び工事番号：		受注者名称：		
工 事 名：		現場代理人： (印)		
種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事
				*受理した場合監督員が記事、受理日及びサインをする。
通 知 書 年 月 日				
下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知する。				
		監督員：		
確認種別	確認細別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等
				*実施した年月日を記入及び特記事項等 を実施後記入
確 認 書 年 月 日				
上記種別について、段階確認を実施し確認した。				
		監督員名： (印)		

監督員

年 月 日

監督員

様

受注者名称
現場代理人



立 会 願

下記のとおり、立会をお願いします。

記

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工 事 名
3. 立会項目
4. 立会力所
5. 立会希望、月、日時間
6. その他

年 月 日

監 督 員
様

受注者名称
現場代理人 ㊞

現場発生品調書

年 月 日契約の 工事における下記発生品を引渡します。

記

品 名	規 格	単位	数 量	摘 要

年 月 日

監 督 員

様

受注者名称
現場代理人



工事材料確認書

下記工事において下記材料を使用したいので、確認をお願いします。
なお、材料関係書類は責任を持って保管し、監督員等から請求のあったときは速やかに提出等します。

記

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工事名
3. 工期
- 自 年 月 日
至 年 月 日
4. 使用材料一覧

番号	材料名	品質規格	製造会社名	県産品	備考

※県産品欄は、県産品は○、県認定リサイクル製品は◎、県産品で無い場合は×を記入すること。

年 月 日

監 督 員

様

受注者名称
現場代理人



材料品質証明資料

下記工事において使用した材料について、下記品質証明資料一覧を作成したので報告します。
なお、品質証明資料は責任を持って保管し、監督員から請求のあったときは速やかに提出等します。

記

1. 工事年度及び工事番号
- 年度 第 号
2. 工事名
3. 工期
- 自 年 月 日
至 年 月 日
4. 品質証明資料一覧

番号	材料名	品質規格	製造会社名	品質証明の内容	備考

施工体制台帳 (作成例)

[会社名・事業者ID]

[事業所名・現場ID]

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	大臣 特定 工事業 知事 一般	第 号	年 月 日
	大臣 特定 工事業 知事 一般	第 号	年 月 日

工事名称及び住所				
発注者名	名			
住所	所			
工期	自 年 月 日 至 年 月 日	契約日	年 月 日	

契約所	区分	名	住所
	元請契約		
	下請契約		

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入	加入	未加入	加入	未加入
	事業所 整理記号等	区分	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険	
		元請契約					
		下請契約					

発注者の監督員名	権限及び意見 申出方法	
----------	----------------	--

監督員名	権限及び意見 申出方法	
現場代理人名	権限及び意見 申出方法	
監理技術者名 主任技術者名 非専任	資格内容	
監理技術者補佐 名	資格内容	
専門技術者名	専門技術者名	
資格内容	資格内容	
担当	担当	
工事内容	工事内容	

一号特定技能外国人の従事状況(有無)	有 無	外国人建設業 労働者の従事 状況(有無)	有 無
--------------------	-----	----------------------------	-----

《下請負人に関する事項》

会社名・事業 事業者ID	代表者名	
住所		
工事名称及び住所	名称	住所
工期	自 年 月 日 至 年 月 日	契約日 年 月 日

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	大臣 特定 工事業 知事 一般	第 号	年 月 日
	大臣 特定 工事業 知事 一般	第 号	年 月 日

健康保険等の加入状況	保険加入の有無	健康保険		厚生年金保険		雇用保険	
		加入	未加入	加入	未加入	加入	未加入
	事業所 整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		

現場代理人名	権限及び意見 申出方法	安全衛生推進者名
主任技術者名	主任技術者名	雇用管理責任者名
資格内容	資格内容	専門技術者名
		資格内容
		担当工事内容

一号特定技能外国人の従事状況(有無)	有 無	外国人建設業労働者の従事状況(有無)	有 無
--------------------	-----	--------------------	-----

※施工体制台帳の添付書類(建設業法施行規則第14条の2第2項)

- 発注者と作成建設業者の請負契約及び作成建設業者と下請負人の下請契約に係る当初契約及び変更契約の契約書面の写し(公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く)
- 主任技術者又は監理技術者が主任技術者資格又は監理技術者資格を有する事を証する書面及び当該主任技術者又は監理技術者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者を証する書面又はこれらの写し
- 専門技術者を有する場合は、その者が主任技術者資格を有することなく雇用されている者を証する書面及びその者が作成建設業者に雇用期間を特に限定することなく雇用されている者を証する書面又はこれらの写し

作 業 員 名 簿

(年 月 日作成)

事業所の名称

・現場ID

所長名

本書面に記載した内容は、作業員名簿として安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために、請負業者等に提示することについて、記載者本人は同意しています。

元請 確認欄	提出日	年	月	日
-----------	-----	---	---	---

(次)会社名
・事業者ID

一次会社名
・事業者ID

[illegible]

注) 1. ※印欄には次の記号を入れる。

(注) 3. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。

(注) 4. 各社別に作成するのが原則だが、リース機械等の運転者は一緒によい。
(注) 5. 資格・免許等の写しを添付すること。

①現場代理人 ②作業主任者（（注）2.） ③女性作業員 ④…18歳未満の作業員

6. 健康保険欄には、左欄に健康保険の名称（健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険）を記載。上記の保険に加入しておらず、後期高齢者である

④ 外国人技能実習生 …… 外国人建設就労者 ⑤ 就

(注) 8. 雇用保険欄には右欄に被保険者番号の下4けたを記載。(日雇労働被保険者の場合)には左欄に「日雇保険」と記載)事業主である等により雇用保険の適用除外となる場合がある。

外である場合には左欄に「適用除外」と記載。
(注) 9. 建設業退職金共済制度及び中小企業退職金共済制度への加入の有無について

(注) 10. 安全衛生に関する教育の内容(例: 雇入時教育、職長教育、建設用リフトは、それぞれの欄に「有」又は「無」と記載。
上の訓練の業務に係る特別教育)については「雇入・職長特別教育」欄に記載

(注) 11. 建設工事に係る知識及び技術又は技能に関する資格(例: 登録〇〇基幹技能者、〇級〇〇施工管理技士)を有する場合は、「免許」欄に記載。

(注) 12 記載事項の一部について 別紙を用いて記載しても差し支えない

施工体系图(作成例)

注册者名	
工 事 名 称	

工期	自	年	月	日	至	年	月	日
----	---	---	---	---	---	---	---	---

元	職	名・事業者名	ID
監	督	名	
監	理	技	名
主	任	技	名
監	理	技	名
専	門	技	名
組	当	工	事
専	門	技	名
組	当	工	事

元方安全衛生管理署	
-----------	--

会 長	統括安全衛生責任者
-----	-----------

	副会長

工 事		年 月 日
工 事	招 徠 工 事 內	
	專 門 技 術 者	
	有、無	
	多人的場合	
	主任技術者	
	原金庫生實任者	
	一般・特定別	一般・特定
	可 否 番 号	
	代 表 者 名	
	会社名・事業所 ID	

会社名・事業所ID	
代表者名	
許可番号	
一般・指定の区分	一般・指定
収束年度生員数	一般・指定
主任技術者	
専任部門工務部の担当	有・無
専門技術者	
担当工事内容	
工事期間	日 月 年 月 日

工 事 要 素	会社名・事業者名	代 表 者 名	取 扱 番 号	許 可 特 定 の 期	一般・特定
				取 扱 者 名 就 任 者	
				主 任 技 術 者	
				特 定 専 門 工 事 要 素 等 当 当	有、無
	工 事 内 容	専 門 技 術 者			
		相 当 工 事 内 容			
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

工 事	工 事 内 容	日 月 年	日
	会 社 名、事業者印 代 表 者 名 許 可 番 号 一般・特定 取 締 主 責任者 主 任 技 術 者 特定専任工 事の担当 専 門 技 術 者 有、無	一般・特定 一般・特定	

工 事	年 月 日	日
工 事 内 容	相 同 工 事 内	
特 定 的 工 事 的 施 工 要 求	有、無	
正 任 技 術 者		
原 來 生 產 負 責 者	一 般 特 定	
可 可 備 份		
代 表 者 名		
會 社 名、番 號 及 ID		

[illegible]

工 事 費	会社名・事業所名	会 社 名	日 月 年
	代 表 者 名		
	印 可 番 号		
	一般ノ特定ノ知	一般ノ特定	
	代表者ノ責任者		
	主任技術者		有、無
	特定専門工 事所長		
	専 門 技 術 者		
	印 可 番 号		
	事業所名		
	内 容		

工 事	日	月	年	日
内 容	社会名・事業者名 代表者名 許可番号 一般労働者の知 安全衛生責任者 主任技師 専任専門工 事の担当 有、無 専門技師 内 容			

会社名・事業名 ID	代表者名	許可番号	一般・特定区分 一般・特定区分 一般・特定区分	一般・特定
主任技師者	主任技師者 特定専門工 事者の該当	有、無	有、無	有、無
専門技師者	専門技師者	有、無	有、無	有、無
施工工事 内	施工工事 内	有、無	有、無	有、無
工事	工事	有、無	有、無	有、無
工費	工費	有、無	有、無	有、無
年月日	年月日	年月日	年月日	年月日

工 業	日	月	年
工 場	内	部	外
管 理 技 術 者	有	無	
専 門 技 術 者	有	無	
主 任 技 術 者			
要 求 生 産 任 者			
一 般 警 衛 的 技 術			
許 可 證 分			
代 表 者 名			
会 社 名・事業 者 名			

工 業	業 種	日	月	年	日	
	工 場 名	会社名、事業所名 代 表 者 名 番 号 一般/特定 一般/特定の知 従業員数 主任技師者 専任専門工 有、無 専 門 技 師 者 内 容 製造事業				

工務		日	月	年	日
工事 内容	道路工事				
要員・技術者	特定専門工 事の担当				
	有、無				
主任・技術者					
安全衛生責任者					
一般労働者の知 識・特定の知識					
許可番号					
代表者名					
会社名・事業所名					

工 事	年 月 日 ~ 年 月 日
工 事 内 容	招 工 事 内
参 事 的 工 事 的 部 门	有 一 部
主 任 技 術 者	
監 査 生 産 任 者	一 般 特 定
代 表 者 名	
代 表 者 姓 名	
代 表 者 番 号	
会 社 名 称 及 事 業 者 ID	

会社名・事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般指定の品	一般・指定
受発注責任者	
主任技術者	
専門工場の担当	有・無
専門技術者	
担当工事内	
工事	
年	日
月	日
日	日

工 事	工 事 内 容		年 月 日
	修 理 内 容	修 理 部 門	日
	修 理 部 門	修 理 部 門	日
	修 理 部 門	修 理 部 門	日

[illegible]

年 月 日

再下請負通知書 (作成例)

直近上位
注文者名

【報告下請負業者】

住所

元請名称・ID 事業者ID	
------------------	--

会社名・
事業者ID

代表者名

《自社に関する事項》

工事名称 工事内容	自 年 月 日 至 年 月 日	注文者との 契約日	年 月 日
--------------	-----------------	--------------	-------

建設業の 許可	施工期間 大匠 特定 工事業 知事 一般 工事業 知事 一般	許可番号	許可(更新)年月日 年 月 日
------------	---	------	--------------------

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険
		加入	未加入	加入
		適用除外	適用除外	適用除外
		営業所の名称	健康保険	厚生年金保険
事業所 整理記号等				

監督員名	安全衛生責任者名
権限及び 意見申出方法	安全衛生推進者名
現場代理人名	雇用管理責任者名
権限及び 意見申出方法	専門技術者名
主任技術者名	資格内容
資格内容	担当工事内容

一号特定技能外 国人の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実 習生の従事 状況(有無)	有 無
------------------------	-----	---------------------------	-----

《再下請負関係》

再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会社 ・事業者ID	代表者名
住所 電話番号	
工事名称 及工事内容	
工期 自 年 月 日 至 年 月 日	契約日 年 月 日

建設業の 許可	施工期間 大匠 特定 工事業 知事 一般 工事業 知事 一般	許可番号	許可(更新)年月日 年 月 日
------------	---	------	--------------------

健康保険等 の加入状況	保険加入 の有無	健康保険	厚生年金保険	雇用保険
		加入	未加入	加入
		適用除外	適用除外	適用除外
		営業所の名称	健康保険	厚生年金保険
事業所 整理記号等				

現場代理人名	安全衛生責任者名
権限及び 意見申出方法	安全衛生推進者名
主任技術者名	雇用管理責任者名
資格内容	専門技術者名
資格内容	資格内容
資格内容	担当工事内容

一号特定技能外 国人の従事状況(有無)	有 無	外国人技能実 習生の従事 状況(有無)	有 無
------------------------	-----	---------------------------	-----

※再下請通知書の添付書類(建設業法施行規則第14条の4第3項)

・再下請通知人が再下請人と締結した当初契約及び変更契約の契約書面の写し(公共工事以外の建設工事について締結されるものに係るものは、請負代金の額に係る部分を除く)

施工計画書 現場組織表

現場代理人	
(氏 名)	
連絡先	昼間 ○○○－○○○－○○○○
	夜間 ○○○－○○○－○○○○
【写真貼添付欄】	
主任(監理)技術者	
(氏 名)	
連絡先	昼間 ○○○－○○○－○○○○
	夜間 ○○○－○○○－○○○○
【写真添付欄】	

工程管理係	(氏名)
出来形管理係	(氏名)
品質管理係	(氏名)
写真管理係	(氏名)
測量係	(氏名)
資材係	(氏名)
労務係	(氏名)
機械係	(氏名)
事務係	(氏名)

【注意事項】

- ※添付する写真は、縦3cm、横2. 5cm程度の大きさとし、顔が判別できるものとする。
- ※カラーコピー、もしくはデジタルカメラ写真を印刷したものでもよい。
- ※下請負契約がある場合、写真は様式2に添付するものとし、当該様式1では、省略できるものとする。

施工計画書 現場組織表

元請会社名	
許可番号	
現場代理人名	

【写真添付欄】
『専任のみ』

工事

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

主任(兼)技術者名	
元請負金額	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

- 【注意事項】
1. 全ての下請負契約書(写)を添付の事。
 2. 下請負者の主任技術者の写真は専任の欄のみ添付の事。
 3. 添付する写真は、
横 2.5cm
縦 3cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。
 4. カラーコピー、もしくはデジタルカメラ写真を印刷したものでよい。
 5. A3版で作成したものでよい。

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

会社名	
許可番号	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

下請負工事名	
会社名	
下請負金額	
主任技術者名	
工期	
専任・非専任	

【写真添付欄】
『専任のみ』

工事日誌

一、
二、
三、

雨量計によらない場合は豪雨、大雨、小雨、俄雨、雷雨の区別を記載して差し支えない
増水により工事施工に関係ある現場では簡易な水位測定設備をつくること
本表に記載の品種は原則として、「コンクリート」のみとし他は別表とする(但し簡易のものは差し支えない)

工事日誌(年 月 日から 年 月 日まで 日間)													
工事番号		年度 第 号				工事日数 日間 着工 年 月 日 竣工 年 月 日		受注者 主任 技術者					
工事名		工事				指示 又は 事項 確認 指示者 又は確認者		使用主要材料					
月	日	天 候	雨 量	水 位	出勤状況		作 業 状 況 等記事	品名	規 格	単 位	使用材 料		
					職種	人数					日 計	累 計	
	1 11 21												
	2 12 22												
	3 13 23												
	4 14 24												
	5 15 25												
	6 16 26												
	7 17 27												
	8 18 28												
	9 19 29												
	10 20 30												
	31												

工事中監督員の要求するときに提出すること

工事中は現場に常備すること

用紙の大きさは A3 判又は A4 判とすること

工事出来高率(今回) % 工事出来高率(累計) %

様式7-1

工事特性・創意工夫・県産品、県認定リサイクル製品・社会性等・施工体制・施工状況に関する実施状況

工 事 名		受 注 者 名
考 査 項 目	評 価 内 容	事 例
☐ 工事特性	☐ 構造物の特殊性への対応	高さや延長等、施工規模が特殊な工事 形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 など
	☐ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応	地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 現道上での交通規制に大きく影響する工事 緊急時に対応が特に必要な工事 施工箇所が広範囲にわたる工事 など
	☐ 厳しい自然・地盤条件への対応	特殊な地盤条件への対応が必要な工事 雨や雪等の自然条件の影響が大きな工事 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 など
	☐ 長期工事における安全確保への対応	12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事 など
☐ 創意工夫	☐ 施工関係	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫 情報化施工を取り入れた工事 など
	☐ 品質関係	コンクリートの打設、養生 など
	☐ 安全衛生関係	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 など
	☐ 施工管理関係	
	☐ その他	
☐ 県産品、県認定リサイクル製品	☐ 県産品	
	☐ 県認定リサイクル製品	
	☐ 県内開発建設技術	
☐ 社会性等	☐ 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション ボランティアの実施 など
☐ 施工体制	☐ 創意工夫や提案	施工前の創意工夫や提案 など
☐ 施工状況	☐ 品質確保対策	品質確保のための特別な対策や独自の工夫 など
	☐ 安全対策	安全管理のための臨機の措置 など

1. 該当する項目の□にレマークを記入

2. 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

様式7-2

工事特性・創意工夫・県産品、県認定リサイクル製品・社会性等・施工体制・施工状況に関する実施状況

工 事 名				／
項 目		評 価 内 容		
提 案 内 容				
(説明)				
(添付図)				

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

年 月 日

和歌山県知事 様

受注者 住 所
氏 名

㊟

レディーミクストコンクリートに関する調達調書

年 月 日付けで建設工事請負契約を締結した下記工事に用いるレディーミクストコンクリートについては、全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した全国統一品質管理監査基準に基づく監査に合格した工場以外から調達するので、調達調書を提出します。

なお、土木工事施工管理基準等における品質管理基準に示されるコンクリートの施工に関する試験頻度を2倍とし、品質管理を行います。

記

1. 工事年度及び工事番号
2. 工事名
3. レディーミクストコンクリートの調達先工場名
4. レディーミクストコンクリートを用いる構造物の概要及び数量
5. レディーミクストコンクリートの規格
6. レディーミクストコンクリートの使用予定期間
7. 理由

書
題
達
題

和歌山県知事 様

1. 工事名
2. 工事場所
3. 請負代金額

4. 下請契約

[illegible]

※下請金額にかかわらず、下請(2次以降)契約する全ての対象建設業者を記載すること。

5. 資材調達
本工事において県内建設資材以外で使用する資材を報告します。

[illegible]

※使用数量の有無にかかわらず、全ての県内建設資材以外について記載すること。所在地は都道府県名程度とする。
※設計図書に県産品と明記された資材は、「県産品」項目に「○」を記入すること。

年 月 日

発注機関の長 様

受注者名

窓口責任者報告書

この度、当社で受注した

工事名 _____

工事場所 _____

については、下記の者を窓口責任者とします。

記

◎ 窓口責任者

住 所 _____
(ふりがな)

氏 名 _____ 年 月 日生 _____

電話番号 _____ (携帯) _____

年 月 日

発注機関の長 様

受注者名

不当要求対応マニュアル講習受講申込書

工 事 名	
工 事 場 所	
受注者名	
住 所	
電 話 番 号	
窓口責任者 氏名・住所 電 話 番 号	
受講対象者 氏名・会社名 住所等	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
受講者多数の 場合は、別紙使 用可	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
	氏名) 会社名) (現場事務所) 電話 () -
受講希望日	和歌山県警の指定日とする。
連 絡 体 制	別紙のとおり (案を示し、具体については、警察署と協議すること)
受講で特に聞 いておきたい 事項等	
※監督員氏名 連絡先	

※印は、発注者側で記入します。

工事期間： 年 月 日 ～ 年 月 日までの間
(鉛筆書き可)